

奈良県 × GLASS ROCK Social Action Community

東京で奈良を考える

奈良の課題に向き合い、関わりしろを見つける

2/20(金) 18:30 - 20:30 ON LIVE

場所 | Glass Rock (虎ノ門ヒルズ) B1



【奈良県×グラスロック】
東京で「今の奈良」を語る対話イベント『東京で奈良を考える』2/20 開催
— 魅力が“伝わらない”課題と新たな
関係づくりを考える —

奈良県は、2026年2月20日（金）、東京・虎ノ門の共創施設「Glass Rock」にて、首都圏向けイベント

「東京で奈良を考える — 奈良の課題に向き合い、関わりしろを見つける —」を開催いたします。

奈良といえば、大仏や修学旅行といった固定的なイメージが強く、暮らしや仕事、挑戦する人々などの「今の奈良」が、首都圏には十分に伝わっていない状況があります。

奈良県では、「魅力がない」のではなく、「魅力が届いていない」ことを課題の一つとして捉えています。

この状況は、ふるさと納税にも表れており、返礼品や取り組みの質は高い一方で、人やストーリーが十分に共有されず、継続的な関係づくりにつながりにくいという課題があります。

本イベント「東京で奈良を考える」は、こうした課題を共有し、多様な立場の人々とともに「奈良とどのように関わられるのか」を考える対話の場として開催するものです。

地域と関わり続けてきた実践者の話を通して、「何をするか」ではなく「どう関わり続けるか」という視点を得ることができます。

ゲストトーク | 吉田田タカシさん

(まほうのだがしや チロル堂／トキヨーコーヒー)

ゲストとして、奈良県生駒市を拠点に活動する 吉田田タカシさんを迎えます。

吉田田さんは、生駒市で「まほうのだがしや チロル堂」を共同運営し、
子ども・大人・地域がゆるやかにつながる場づくりを実践してきた人物です。
チロル堂は、生駒市のふるさと納税返礼品としても位置づけられ、
地域と関係を育てる取り組みとして注目されています。

近年は、奈良県天理市でも新たなプロジェクトを立ち上げ、
地域資源や人の関係性を起点とした活動を展開。
特定の地域にとどまらず、奈良というフィールド全体とどう関わるかを、
実践を通じて問い合わせています。

また、2025年には
『「いきたくない」もわるくない?
トキヨーコーヒーからはじめる、大人もたのしむ共育のデザイン』
を刊行。不登校というテーマを入口に、
大人も含めた社会のあり方や、問い合わせをひらき続ける場づくりの価値を発信しています。

「いきたくない」もわるくない? トキヨーコーヒーからはじめる、大人もたのしむ共育の
デザイン

<https://kaiin.hanmoto.com/bd/isbn/978-4-910534-10-7>

本トークでは、奈良県が提示する課題に対し、

- 地域と関わり続けるために大切にしてきたこと
- 「売る」よりも「関係を育てる」という視点
- 実践の中で見えてきた、地域との関わり方のリアル

といった示唆を共有いただきます。

市町村トーク・参加型プログラムについて

当日は、奈良県・奈良市・山添村の担当者も登壇し、奈良県全体の課題や取り組み、それぞれの市町村の魅力、ふるさと納税に込めた想いなどを語ります。

一方的に話を聞く形式ではなく、参加者の視点や問い合わせを交えながら進行するため、行政や地域を「遠い存在」ではなく、対話できる相手として捉えるきっかけとなります。

後半には、奈良市や山添村のふるさと納税品を味わいながら、参加者同士で自由に意見を交わす時間を設けています。

プログラム（予定）

- ・オープニング | 奈良県より現状と課題の共有
 - ・ゲストトーク | 吉田田タカシさん
 - ・市町村トークセッション | 奈良県・奈良市・山添村
 - ・参加型プログラム | ワークショップ
-

開催概要

イベント名

東京で奈良を考える
奈良の課題に向き合い、関わりしろを見つける

日時

2026年2月20日（金）18:30～20:30

会場

Glass Rock Members Lounge

(東京都港区虎ノ門 1 丁目 22-1 グラスロック B1 階)

定員

30~50 名

参加費

無料（事前申込制）

対象

- ・首都圏のビジネスパーソン、クリエイター、メディア関係者、学生など
- ・奈良や地域との関わりに関心のある方

主催

奈良県

協力

Glass Rock（グラスロック）

企画

株式会社 TAM、株式会社 kumanomics、株式会社 Grau

奈良を「知っている場所」から、「関われる存在」へ

修学旅行の記憶の先にある奈良を、東京であらためて考えます。

奈良県では、本イベントを通じて得られた視点や言葉を、今後の情報発信や市町村との取り組みに生かしていく予定です。首都圏における奈良との新しい関係づくりの第一歩として、本イベントを位置づけています。

参加方法

Peatix にて事前申込制

<https://naraintokyo1.peatix.com/>

取材について

本イベントは、首都圏のメディア関係者による取材・記録も歓迎します。

トークセッションおよびワークショップについては、参加者のプライバシーに配慮した形でご案内します。

お問い合わせ

奈良県広報広聴課
